

平成 23 年 8 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 7 月 8 日

上 場 会 社 名 旭化学工業株式会社 上場取引所 大
 コー ド 番 号 7928 URL http://www.asahikagakukogyo.co.jp
 代 表 者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 杉浦 武
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 奥村 哲男 (TEL) 0566 (92) 4181
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 7 月 11 日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・☒ 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・☒ 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 23 年 8 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 22 年 9 月 1 日～平成 23 年 5 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売 上 高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 8 月期第 3 四半期	4,564	18.2	296	13.1	287	5.4	241	24.9
22 年 8 月期第 3 四半期	3,860	△1.2	261	31.3	272	42.8	193	26.3

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 8 月期第 3 四半期	65.31	—
22 年 8 月期第 3 四半期	51.52	—

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
23 年 8 月期第 3 四半期	5,289	4,422	83.6	1,211.94
22 年 8 月期	5,224	4,319	82.7	1,152.45

(参考) 自己資本 23 年 8 月期第 3 四半期 4,422 百万円 22 年 8 月期 4,319 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 8 月期	—	4.00	—	11.00	15.00
23 年 8 月期	—	4.00	—	—	—
23 年 8 月期(予想)	—	—	—	11.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・☒ 無

3. 平成 23 年 8 月期の連結業績予想 (平成 22 年 9 月 1 日～平成 23 年 8 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売 上 高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	6,000	14.4	370	△0.5	360	△4.3	300	14.1	82.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : ☒ 有・☐ 無

平成 23 年 1 月 13 日に公表した業績予想を修正し、本日平成 23 年 7 月 8 日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を別途開示しております。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・☒無
新規 社 (社名) 、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : ☒有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : ☒有・無
② ①以外の会計方針の変更 : 有・☒無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	23 年 8 月期 3Q	3,896,000 株	22 年 8 月期	3,896,000 株
② 期末自己株式数	23 年 8 月期 3Q	246,776 株	22 年 8 月期	148,276 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	23 年 8 月期 3Q	3,692,154 株	22 年 8 月期 3Q	3,747,800 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(第3四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、アジアを中心とした新興国での経済成長により回復基調にて推移しておりましたが、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災がわが国経済に甚大なる被害をもたらし、景気の先行きは全く不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループの主な販売先であります電動工具業界は、アジアの販売が堅調であり生産が増加しましたが、一方自動車業界は東日本大震災の影響により生産活動が一時停止したため、自動車部品の生産は伸び悩みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は45億64百万円（前年同四半期比18.2%増）となり、経常利益は2億87百万円（同5.4%増）、四半期純利益は2億41百万円（同24.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

国内は、東日本大震災の影響で、自動車の生産が停止したことにより自動車向け製品の販売が減少し、売上高は24億24百万円、営業利益は83百万円となりました。

②中国

中国は、電動工具業界の販売の増加により、売上高は22億25百万円、営業利益は1億63百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は52億89百万円（前連結会計年度末比1.2%増）となり、前連結会計年度末と比べ64百万円増加しました。変動の主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産は、現金及び預金が1億77百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が1億33百万円及びたな卸資産が96百万円それぞれ増加したことにより、前連結会計年度末に比べ53百万円増加し28億38百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が32百万円減少しましたが、投資有価証券が42百万円増加したことにより、前連結会計年度末と比べ10百万円増加し24億51百万円となりました。

流動負債は、買掛金が1億49百万円増加しましたが、未払法人税等が59百万円減少し、前連結会計年度末に比べ97百万円増加し8億11百万円となりました。固定負債は、役員退職慰労引当金が1億51百万円減少したことにより、前連結会計年度末と比べ1億36百万円減少し55百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が1億85百万円及びその他有価証券評価差額金が22百万円それぞれ増加しましたが、自己株式の取得により自己株式が58百万円増加したこと及び為替換算調整勘定が45百万円減少したことにより、前連結会計年度末と比べ1億3百万円増加し44億22百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりであります。

営業活動の結果獲得した資金は1億20百万円（前年同四半期は3億92百万円の資金の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2億78百万円、減価償却費1億66百万円及び仕入債務の増加による収入1億57百万円を計上する一方で、売上債権の増加による支出1億42百万円、たな卸資産の増加による支出1億1百万円、役員退職慰労引当金の減少による支出1億51百万円及び法人税等の支払額98百万円を計上したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は1億32百万円（前年同四半期は1億95百万円の資金の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1億55百万円を計上したことによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は1億13百万円（前年同四半期は38百万円の資金の支出）となりました。これは、自己株式の取得による支出58百万円及び配当金の支払額54百万円を計上したことによるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べ1億37百万円減少し9億52百万円（前連結会計年度末比12.6%減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業況動向を踏まえ、平成23年1月13日に公表した平成23年8月期の業績予想を修正しております。なお、詳細につきましては、本日平成23年7月8日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

連結業績予想は当社が現時点で入手した見通しであり、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。今後業績修正の必要が生じた場合は適時かつ適切に開示してまいります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

②たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末に係る実地たな卸高を基礎として、合理的な方法により算定しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準に関する事項の変更

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これによる損益への影響はありません。

②表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,430,354	1,608,065
受取手形及び売掛金	919,492	786,019
商品及び製品	169,652	122,888
仕掛品	73,704	74,505
原材料及び貯蔵品	183,424	132,460
繰延税金資産	22,845	21,430
その他	39,151	39,448
貸倒引当金	△440	△470
流動資産合計	2,838,184	2,784,347
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	795,625	837,237
機械装置及び運搬具（純額）	566,919	589,172
土地	827,560	829,320
その他（純額）	83,118	50,286
有形固定資産合計	2,273,224	2,306,017
無形固定資産	9,210	7,796
投資その他の資産		
投資有価証券	125,459	83,412
その他	46,366	46,671
貸倒引当金	△3,183	△3,280
投資その他の資産合計	168,642	126,803
固定資産合計	2,451,077	2,440,617
資産合計	5,289,262	5,224,964
負債の部		
流動負債		
買掛金	631,414	481,676
未払法人税等	15,377	74,599
賞与引当金	40,822	27,005
役員賞与引当金	7,225	8,395
その他	116,260	122,002
流動負債合計	811,098	713,678
固定負債		
繰延税金負債	24,329	9,808
役員退職慰労引当金	31,200	182,432
固定負債合計	55,529	192,240
負債合計	866,628	905,918

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	671,787	671,787
資本剰余金	729,938	729,938
利益剰余金	3,366,523	3,181,226
自己株式	△132,822	△74,005
株主資本合計	4,635,426	4,508,946
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	38,420	15,976
為替換算調整勘定	△251,213	△205,876
評価・換算差額等合計	△212,792	△189,900
純資産合計	4,422,633	4,319,046
負債純資産合計	5,289,262	5,224,964

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年5月31日)
売上高	3,860,394	4,564,029
売上原価	3,270,573	3,932,093
売上総利益	589,821	631,936
販売費及び一般管理費	328,037	335,745
営業利益	261,784	296,191
営業外収益		
受取利息	8,317	9,397
受取配当金	490	525
助成金収入	3,412	262
その他	1,484	2,547
営業外収益合計	13,704	12,733
営業外費用		
為替差損	3,075	21,200
その他	—	625
営業外費用合計	3,075	21,826
経常利益	272,413	287,097
特別利益		
貸倒引当金戻入額	10	13
保険差益	1,282	—
特別利益合計	1,292	13
特別損失		
固定資産売却損	324	1,982
固定資産除却損	1,344	2,180
就業補償金	—	3,966
特別損失合計	1,669	8,128
税金等調整前四半期純利益	272,035	278,982
法人税、住民税及び事業税	100,006	39,595
法人税等調整額	△21,066	△1,732
法人税等合計	78,940	37,863
少数株主損益調整前四半期純利益	—	241,119
四半期純利益	193,095	241,119

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)
売上高	1,343,780	1,483,311
売上原価	1,130,686	1,320,856
売上総利益	213,094	162,454
販売費及び一般管理費	116,254	109,776
営業利益	96,839	52,678
営業外収益		
受取利息	2,970	3,552
為替差益	1,935	—
その他	393	523
営業外収益合計	5,299	4,076
営業外費用		
為替差損	—	6,608
その他	—	1
営業外費用合計	—	6,609
経常利益	102,139	50,145
特別損失		
固定資産売却損	1	729
固定資産除却損	174	398
就業補償金	—	116
特別損失合計	176	1,244
税金等調整前四半期純利益	101,963	48,901
法人税、住民税及び事業税	44,258	13,144
法人税等調整額	△14,474	△6,066
法人税等合計	29,783	7,077
少数株主損益調整前四半期純利益	—	41,823
四半期純利益	72,179	41,823

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	272,035	278,982
減価償却費	179,555	166,825
賞与引当金の増減額 (△は減少)	23,291	13,966
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△847	△1,170
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	13,778	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,231	△151,231
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	50	△126
受取利息及び受取配当金	△8,808	△9,923
有形固定資産売却損益 (△は益)	324	1,982
有形固定資産除却損	1,344	2,180
保険差益	△1,282	—
為替差損益 (△は益)	1,538	692
売上債権の増減額 (△は増加)	△144,545	△142,880
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△47,552	△101,370
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△4,602	410
仕入債務の増減額 (△は減少)	96,613	157,043
未払費用の増減額 (△は減少)	12,241	769
未払消費税等の増減額 (△は減少)	10,443	△6,400
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△1,422	△1,067
その他	2	110
小計	405,389	208,792
利息及び配当金の受取額	7,186	10,056
法人税等の支払額	△19,948	△98,431
営業活動によるキャッシュ・フロー	392,627	120,417
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△314,205	△150,859
定期預金の払戻による収入	180,000	180,000
投資有価証券の取得による支出	△4,731	△4,764
有形固定資産の取得による支出	△59,895	△155,592
有形固定資産の売却による収入	86	3,912
無形固定資産の取得による支出	△1,140	△3,819
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	4,803	△1,315
投資活動によるキャッシュ・フロー	△195,081	△132,438
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△58,817
配当金の支払額	△38,457	△54,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,457	△113,317
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,911	△12,575
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	142,176	△137,913
現金及び現金同等物の期首残高	925,209	1,090,312
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,067,385	952,399

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結会計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日）

当社グループはプラスチック製品関係の専門メーカーとして、同一セグメントに属する電動工具及び自動車部品の樹脂成形、電動工具の組付、樹脂金型の設計製作、並びに自社製品である建築資材の製造販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日）

当社グループはプラスチック製品関係の専門メーカーとして、同一セグメントに属する電動工具及び自動車部品の樹脂成形、電動工具の組付、樹脂金型の設計製作、並びに自社製品である建築資材の製造販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結会計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日）

	日 本 (千円)	中 国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連 結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	846,927	496,853	1,343,780	—	1,343,780
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	41,589	41,589	△41,589	—
計	846,927	538,442	1,385,370	△41,589	1,343,780
営業利益	24,806	61,883	86,690	10,149	96,839

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日）

	日 本 (千円)	中 国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連 結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	2,643,212	1,217,181	3,860,394	—	3,860,394
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	160,607	160,607	△160,607	—
計	2,643,212	1,377,789	4,021,002	△160,607	3,860,394
営業利益	116,856	114,875	231,732	30,051	261,784

(注)国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結会計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日）

	中 国	計
I 海外売上高（千円）	496,853	496,853
II 連結売上高（千円）	—	1,343,780
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	37.0	37.0

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日）

	中 国	計
I 海外売上高（千円）	1,217,181	1,217,181
II 連結売上高（千円）	—	3,860,394
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	31.5	31.5

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、プラスチック製品の成形加工事業の単一事業であり、国内においては当社が、海外においては中国を旭日塑料制品（昆山）有限公司がそれぞれ担当しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」と「中国」の2つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、電動工具部品、自動車部品及びその他のプラスチック製品を生産・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年9月1日 至平成23年5月31日）

（単位：千円）

	日 本	中 国	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	2,424,020	2,140,008	4,564,029	—	4,564,029
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	85,077	85,077	△85,077	—
計	2,424,020	2,225,085	4,649,106	△85,077	4,564,029
セグメント利益	83,307	163,096	246,404	49,786	296,191

当第3四半期連結会計期間（自平成23年3月1日 至平成23年5月31日）

（単位：千円）

	日 本	中 国	計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	652,829	830,481	1,483,311	—	1,483,311
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	26,453	26,453	△26,453	—
計	652,829	856,935	1,509,765	△26,453	1,483,311
セグメント利益又は損失（△）	△10,310	43,290	32,980	19,698	52,678

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年10月8日開催の取締役会において決議された自己株式の取得につき、以下のとおり買付いたしました。

- | | |
|------------|----------------------------|
| ①買付期間 | 自 平成22年10月12日 至 平成23年2月22日 |
| ②取得した株式の種類 | 当社普通株式 |
| ③取得した株式の総数 | 98,500株 |
| ④取得した株式の総額 | 58,817,200円 |

上記の結果、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式は132,822千円となっております。